

登録番号 第 24669 号

グッドラック®フロアブル

特長：

- 新規有効成分サイラ配合、移植直後から使用できる水稲用一発処理剤です。
- ノビエに対して長期残効を示し、多年生雑草（クログワイ等）にも効果を示します。
- ALS 阻害剤抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ、オモダカ等）にも高い効果を発揮します。
- 畦畔から侵入するイボクサ等にも優れた効果を示します。

サイラ、グッドラックは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	サイラ（シクロピリモレート）・・・3.8% トリアファモン・・・0.95% ベンゾビシクロン（化管法第1種）・・・2.9%	包装	500ml×20
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	4 年
毒性	普通物※	危険物	－

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用雑草の範囲及び使用方法】

2022 年 12 月 7 日付内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ノビエ3.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500mL/10a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下

シクロピリモレートを含む 農薬の総使用回数	トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

使用上の注意事項

- (1)使用前に容器をよく振ること。
- (2)使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (3)所定の使用量を厳守すること。
- (4)本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5 葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ウリカワは3 葉期まで、ヘラオモダカは4 葉期まで、ミズガヤツリは草丈 20cm まで、クログワイは発生前～発生始期まで、オモダカは矢じり葉 1 葉期まで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。

- (5) クログワイ、オモダカは、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- (6) 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布すること。
- (7) 本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意すること。また散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。止水期間中の入水は静かに行うこと。
- (8) 本剤を無人航空機による滴下に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - 1) 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - 2) 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないこと。
 - 3) 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 - 4) 薬液の飛散によって適用作物以外の作物に影響を及ぼすおそれがあるので、周辺作物に薬液がかからないように風の影響等を十分考慮して滴下すること。
 - 5) 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - 6) 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
- (9) 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布すること。
- (10) 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけること。
- (11) 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行うこと。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行うこと。
- (12) 補植は必ず散布前に行うこと。
- (13) 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2 cm/日以上)
 - 2) 軟弱な苗を移植した水田
 - 3) 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- (14) 処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められていない。
- (15) 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎ及びさやえんどうを栽培しないこと。
- (16) 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- (17) 空容器等は田場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (18) 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- (19) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行うこと。
- (20) 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理すること。また、使用した機器等は水稻用薬剤以外に使用しないこと。
- (21) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法
ア 農薬使用者に係る注意事項
 - 1) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
 - 2) 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
 - 3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
 - 4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (2) 使用に際して講ずべき被害防止方法
該当なし

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----
通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----
直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。